

雨の日と土曜日は

Rainy days and Mondays always get me down.(雨の日と月曜日はいつも気分が滅入ってしまう)。カーペンターズが1971年に発表した「雨の日と月曜日は」の一節である▼この歌詞を借りれば、椿台カントリークラブの5月はこの歌のように「雨の日と土曜日はいつも気分が滅入ってしまう」といった気持であった。5月の土曜日はほぼ雨と低温、風にたたられた。朝、ゴルフ場の事務所の電話が鳴るたびにキャンセルではないかと心を痛めた。実際キャンセルの電話も少なくなかった▼新しい月を迎えた。6月最初の日曜日となった1日は、朝こそ小雨に見舞われたものの徐々に天候は回復、午後からは日差しも見られた。半袖でプレーするゴルファーもいたほど。やっと迎えた好天に、「休日では久しぶりに晴れたね」「5月は大変だったろうけど、これからですね」と温かい言葉をいただいた▼1日は月例競技会も開かれたが、4月、5月が雨模様の天候の中でのプレーだっただけに、この日は過去2か月のように濡れたクラブ、手袋、ウェアに悩まされることなく、思い切ったプレーが随所にみられた▼6月は梅雨入りの時期でもあるが、できる限り晴れの日が多いことを祈ってばかりいる。幸い天気予報は晴れの日が多いようである。わがまmanaもので、雨の予報だと外れてほしいと思うものの、晴れの予報だと当たってほしいと願う。今月こそはの思いを強くなるばかりである▼Shiny days and Saturdays,Sundays always get me up.(晴れの日と土曜日、日曜日はいつも気分が高揚する)。こんな気持ちの日々が続いてほしい。